

基本理念

世界の健康長寿と幸せに食で貢献 ～ 多様な人々が活躍する世界水準の次世代農業 ～

地域の特性を活かし、将来にわたり持続可能な農業構造を構築することにより、消費者が安心できる安全で健康によい農産物を安定的に生産・供給し、世界の人々の健康長寿に貢献

生き生き働き心豊かに暮らせる農業・農村の創造 ～ 環境と調和し、人々を惹きつける農山村 ～

農業及び農村が育んできた水資源のかん養や、潤いと安らぎを醸し出す良好な景観の維持、自然環境の保全に努め、誰もが心豊かな生活を実現できる農山村を実現

目指す姿

- **農業産出額** ・ 2021年に2,400億円を目指す、特に野菜と畜産物の生産拡大を促進。
- **担い手** ・ ビジネス経営体の農業産出額シェアが、2021年に約3割、将来は過半となる農業構造を確立。
・ 小規模な経営体も含め、多様な経営体が支える持続可能な地域農業を構築。
- **農地集積** ・ 担い手への農地集積率を、2021年に約5割、将来は約8割に拡大。
- **基盤整備** ・ 高収益作物の導入や生産コストの低減を可能とする農地基盤整備面積を、2021年に3,700ha、将来は5,000haまで拡大。
- **美しく品格のある農村** ・ 「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」の参画者数が、2021年に8万人、将来は10万人に増加。

基本方向1 AOI（アグリオープンイノベーション）プロジェクトの推進

（1）AOIプロジェクトの推進

① 農業の生産性向上と関連産業のビジネス展開の促進

- ・ 農林技術研究所による革新的栽培法の技術シーズの開発
- ・ 慶応大学や理化学研究所と連携した栽培技術や育種技術の研究開発
- ・ AOIフォーラムによるビジネスマッチングやセミナーの開催
- ・ オープンイノベーションに取り組む民間企業の事業化支援
- ・ 先端技術の実証フィールドの形成



AOI-PARC® (アオイパーク)
※ Agri Open Innovation Practical and Applied Research Center



ソフトケールGABA (AOIプロジェクト初の成果)

② AI学習支援システムの開発と技術継承

- ・ AI（農業情報科学）を活用したみかん、いちご、トマトの栽培技術の「見える化」
- ・ AI学習支援システムによる産地の栽培技術の向上や新規就農者の技術習得の促進



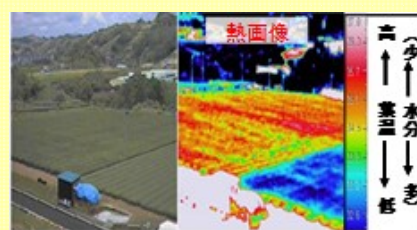
栽培技術を情報端末で学習

③ 農業用ロボット開発の促進

- ・ 農業ロボット研究会の開催、コーディネーターによる農業現場と製造業者のマッチング
- ・ 製造業者が行う農業用ロボットの研究開発の支援
- ・ 農林技術研究所による、農業用ロボットや無人航空機などを活用した生産性向上技術の開発
- ・ スマート農業技術の実証



茶園管理機をベースに開発されたレタス用管理機



茶園の水分、温度状態の把握

基本方向2 多様な人々が活躍する世界水準の農芸品の生産力強化

（1）多彩な農芸品の生産拡大

- ① 土地利用型農業の生産性向上と規模拡大
 - ・ 農地中間管理機構による農地集積の促進
 - ・ 水田フル活用による露地野菜の生産拡大
- ② 次世代型大規模施設園芸や畜産クラスターの整備
 - ・ 生産拡大に向けた設備投資の支援
- ③ GAP（農業生産工程管理）の推進
 - ・ 国際水準GAP認証等の取得促進



担い手への農地集積の推進



園芸用鉄骨ハウス整備への補助

（2）次代を担う農業経営体の育成

- ① 高度農業人材の育成と雇用対策
 - ・ ニューファーマー研修制度の充実
 - ・ 農業法人への就職促進
 - ・ 県立農林環境専門職大学の開学・運営
 - ・ 女性経営者のネットワークづくり
 - ・ 専任チームによる伴走型支援体制の構築



専門職大学の新校舎(イメージ)

（3）農業の競争力強化と持続性を確保する基盤整備

- ① 優良農地の整備と高度利用
 - ・ 地下水位制御システム等水田の高機能化
 - ・ 農地集積・集約化を加速化する基盤整備
- ② 農業用水の安定供給と優良農地の確保
 - ・ 農業水利施設の戦略的更新整備



地下水位制御システムによる水田の高度利用

（4）「ふじのくにマーケティング戦略」の推進

- ① 相手国のマーケット情報に基づく輸出拡大
 - ・ 海外販路拡大のプラットフォームの構築
- ② ターゲットを明確にした国内・県内戦略の推進
 - ・ 首都圏量販店でのマルシェ開催
- ③ 本県農林水産物の情報発信・収集及び高付加価値化の推進
 - ・ 6次産業化の推進



首都圏での富士山しずおかマルシェの開催

基本方向3 環境と調和し、人々を惹きつける都づくりと農山村の再生

（1）「食」、「茶」、「花」の都づくり

- ① 多彩で高品質な農林水産物を活かした「食の都」づくり
 - ・ 「しずおか食セレクション」、「ふじのくに新商品セレクション」のPRや販路拡大
 - ・ 「食の都」づくりの推進役となる料理人・菓子職人の表彰
 - ・ 農業や食の体験機会の創出
- ② 茶の生産、流通、消費における本県の中心性を高める「茶の都」づくり
 - ・ 「ふじのくに茶の都ミュージアム」の活用
 - ・ ドリンク原料茶や有機抹茶等、需要にあった静岡茶の販路拡大
 - ・ 小中学校での静岡茶愛飲の促進
- ③ 花と緑にあふれた生活・職場環境につなげる「花の都」づくり
 - ・ 地域や職場での花・緑の利活用の推進
 - ・ 高校生を対象としたフラワーデザインコンテストの開催
 - ・ 販路拡大に向けた花き商談会の開催



ふじのくに食の都づくり仕事人



ふじのくに茶の都ミュージアム



高校生を対象としたフラワーデザインコンテスト

（2）美しく活力のある農山村の創造

- ① 多様な主体の参画による農村コミュニティの再生
 - ・ 農業者と地域内外の人々による協働活動の支援
- ② 農村の地域資源の保全と活用
 - ・ 農業基盤施設の耐震化、豪雨対策の推進
 - ・ 鳥獣被害対策の推進
- ③ 農山村地域の魅力を活かした交流拡大
 - ・ 滞在型グリーンツーリズム(農泊)の促進
 - ・ 農業遺産「静岡の茶草場農法」や「静岡の水わさび」を活かした地域づくり



ふじのくに美しく品格のある邑づくり



小学生のわさび植え付け体験